



大井町西舟橋町
くりた ゆみ
栗田 有美 さん (43歳)

□プロフィール

兵庫県芦屋市出身。音楽一家で育ち、幼い頃からピアノの英才教育を受けた。大学では日本史専攻。ピアノ演奏・伴奏、歌声喫茶講師、司会業、関西弁読み聞かせ、市観光協会パスガイド、ジバスクラム恵那広報、市女性消防隊などで活躍中。



▲ DVD を PR する栗田さん（後列中央）と芸能保存団体

YouTube 市公式チャンネル「百年後に伝える大井宿の芸能」

明治天皇大井行在所を中心に活動するまちづくり団体「しぶろく大井宿」。歴史・文化伝承チームに所属する栗田有美さんは『百年後に伝える大井宿の芸能』のDVD制作の企画を提案。芸能保存団体への提案や撮影、編集に至るまで、中心的な役割を果たした。

今回、収録した映像は、浅間七福万歳、大井恵那映とんとん節、大井長島獅子舞、大井栄舞、大井太鼓、大井文楽の6芸能。その多くは、指導者の高齢化や後継者不足、資金不足などにより、伝承が困難な状況に直面している。これらの課題を何とかしたいと、熱意あるチームのメンバーと活動を開始した。栗田さんは、後ろ盾がほばない状態でも、単身で保存団体の練習や総会に飛び込み、制作の目的やメリットを丁寧に説明して協力を求めた。最初は「この人は何だろう」という反応だったが、何度も通い、打ち解けることで、信用を得ることができた。

伝統が息づく未来を願う
大井宿の伝統芸能をDVDに収録

高い志を持ち始めた取り組みだったが、道のりは順風満帆ではなかった。新型コロナの影響で練習ができず、撮影が長期間ストップするなど、完成までに3年を費やした。心が折れそうな時もあり「モチベーションの維持が一番大変だった」と振り返る。それでも「郷土の伝統芸能を守り、後世に伝えたい」という強い思いを胸に、チームの支えもあって最後までやり遂げた。完成した時に保存団体の方々がくれた「ありがとう」の言葉と喜びの笑顔で苦労が報われ、何よりの宝物となった。

しかし、これで終わりではない。「二人でも多くの方に映像を見てもらい、伝統芸能への理解と後継者の育成につなげることが大事」と、気を引き締める。伝統芸能の価値が見直され、DVDを見る必要なくなるのが理想。世代を超え、百年後まで地域に息づくことを願い、栗田さんと芸能保存団体の挑戦は続く。



その他の話題もウェブサイトに掲載



3/9

ホストタウンの縁
ポーランド支援募金箱を設置

ロシアによるウクライナ侵攻に伴い、隣国のポーランドなどへ多くの人が避難しています。東京五輪の事前合宿の縁で絆が深まったホストタウン事業の関係団体は、同国が行う避難民救援活動を支援する寄付金の募集を始めました。



3/8

伝統文化活動の担い手で活躍
県伝統文化継承者表彰

永年にわたり伝統文化活動の担い手として活躍し、伝統文化の継承発展に貢献している個人などを表彰する「令和3年度県伝統文化継承者表彰」。市内から、華道千秋流の林正人さん（笠置町）と茶道表千家の岡本祥子さん（東野）の2人が選ばれました。



3/9 大井町を再発見！
大井第二小が観光PR動画を作成

大井第二小学校6年生は、総合的な学習を活用して、2学期から地域の魅力を紹介する観光PR動画を制作してきました。動画では、児童が六つのテーマ「食・自然・安心安全・エーナ・歴史・建物」ごとにグループに分かれ、大井町の良さや、五平餅・栗菓子などを、インタビュー形式で紹介しています。

完成報告で市役所を訪れた馬場ありすさんは「動画を通じてたくさんの人が恵那に興味を持ち、恵那を訪れてくれることを願っています」と笑顔で話しました。

動画は、YouTube市公式チャンネルで視聴できる他、恵那映ビジターセンターなどで活用する予定です。



YouTube 市公式チャンネル「大井町再発見」



3/14

青少年の育成に貢献
市青少年育成市民会議会長表彰



長年にわたり地域活動を通して青少年の手本となったり、青少年の健全育成に努めたりするなどの功績を表彰する「市青少年育成市民会議会長表彰」。その受賞者に10人と1団体が決まり、表彰式が市役所で行われました。



3/9

子どもたちの成長を願う
児童書とベビーカートを寄贈

県民共済生活協同組合から市に児童書129冊とベビーカートが寄贈され、市中央図書館で贈呈式が行われました。同組合は、地域貢献活動として平成30年度から毎年、県内の図書館や小学校に図書を寄贈しています。5月上旬まで、児童室に「県民共済コーナー」を設置します。